

取組の実際

参加対象について

事前に、基礎基本を中心とした学習をすることや自己負担で補充学習専用のテキストを購入することを伝え、希望者を募った。
(希望者をAグループ12名、Bグループ11名に分けて編成)

実施日等

英語と数学の2教科を専用のテキストを使って学習する。

課業日 16:05～ (1時間)			長期休業中(冬休み)		
月曜日	A(数学)	B(英語)	9:00～	A(数学)	B(英語)
金曜日	A(英語)	B(数学)	10:00～	A(英語)	B(数学)

写真中央は、
指導員

数学の学習では、全体的な説明の後、テキストを使った学習を行いました。



指導員について

- ・大学生(数学担当):月曜日、金曜日、長期休業中に指導。
- ・大学生(英語担当):金曜日、長期休業中に指導。
- ・生活支援員(英語担当、教職経験者):原則月曜日に指導。

工夫していること

- ・指導員については、本校で教育実習を予定している学生や学校運営協議会から紹介していただいた学生、本校の生活支援員などに依頼し確保することができた。生徒たちと年齢が近い大学生や日頃から知っている生活支援員が指導しているため、生徒たちも質問しやすいようである。
- ・使用するテキストの選定を各教科担当教諭が行うことで、参加生徒の実態に応じた学習内容につながっている。

成果について

- ・希望者のみの参加にしているため、自立した学習者が育ってきている。
- ・数学と英語を苦手とする生徒にとって、両教科の補充学習ができています。

英語の学習に取り組み、指導員からの解説を聞きました。

(写真前方は、指導員)

